任意接種

# HPVワクチン（男の子）

注射（不活化ワクチン・9価）

ヒトパピローマウイルス（HPV）の感染を防ぎ、HPVが原因となる病気（尖圭コンジローマや一部のがんなど）を予防します。将来のパートナーへの感染を減らすことにもつながります。

## 対象年齢・回数・間隔

| | |
|---|---|
| **対象** | **9歳以上**の男の子（中学1年生ごろがおすすめ） |
| **回数** | 1回目が**15歳になる前**：2回（1回目から6〜12か月あけて。最低5か月）<br>1回目が**15歳以上**：3回（2回目は1回目から1か月以上、3回目は2回目から3か月以上） |
| **ご注意** | 任意接種（自費）です。全部終えるのに約6か月かかります。 |
| **ほかのワクチンとの間隔** | 決まりはありません。同じ日（同時接種）にも、前後どの日にも受けられます。 |

## 副反応と接種後の注意

- 接種した場所の痛み・腫れ・赤みがよくみられます。
- 注射の痛みや緊張から、**気を失う**ことがあります。
- 接種後**15〜30分**は、体調に変化がないか確認するため、**院内で座って**お待ちいただきます（気を失って転ぶのを防ぐため）。
- 当日の入浴はできます。接種した場所はこすらないでください。
- 当日は激しい運動は控えてください。

日本小児科学会は、9歳以上の男の子が9価ワクチンを受けることができるとしています。

**すぐ受診・連絡してほしいとき：**高い熱が続く、けいれん、ぐったりしている、顔色が悪い、じんましん・息苦しさ、接種した部位が大きく腫れて痛がる など

## 持ち物・当日の注意

- **母子健康手帳**
- **予診票**（当院ホームページからダウンロードして、事前に記入してください。ご用意できない場合は窓口でお渡しします）
- 朝、おうちで**体温を測って**きてください。37.5℃以上の場合は接種できません。
- 体調が悪いとき、最近かぜや感染症にかかったときは、ご来院前にお電話でご相談ください。

**がんばったね！**

注射をがんばったお子さまを、たくさんほめてあげてください。
「よくがんばったね」のひと言が、次の接種の勇気になります。

© 2026 くつまこどもクリニック　TEL 045-901-0011　2026年11月改訂　無断転載・複製を禁じます